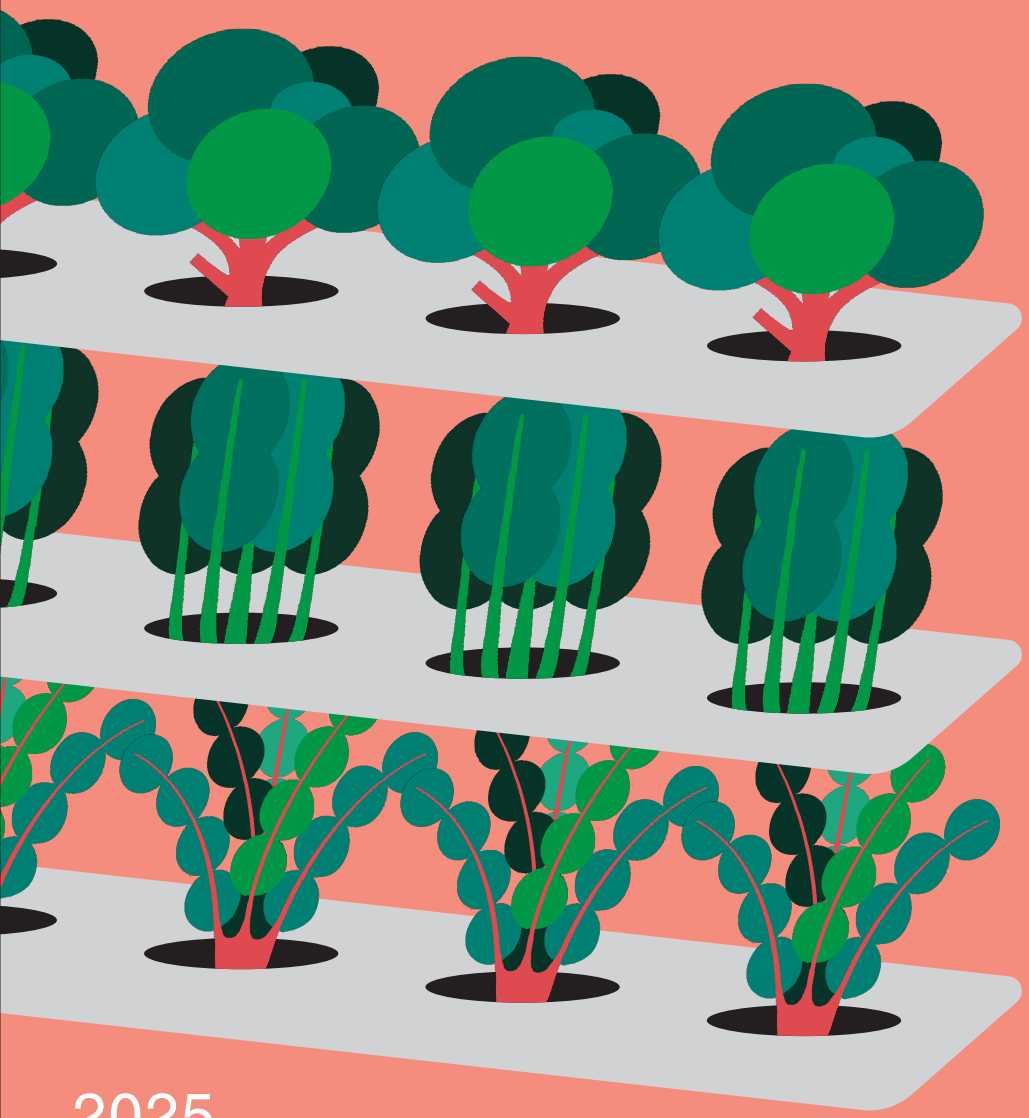
manabu Project

名城大学農学部 公開講座「食と農の安全を考える」第9回

次世代農業のフロントライン：

植物工場が拓く新たな可能性



定員 150名
うち名城大学生80名

2025
6.7(土)
13:00-15:30

名城大学
天白キャンパス
共通講義棟南1階 S-102

食の安全・安心への関心が高まる中、生産者もこれまでの「おいしい」に加えて「安全・安心と環境配慮」が新しい価値観として共有されつつあります。この講座では、GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)を解説するとともに、生産者、サプライヤーにおけるGAPの必要性や実用例などを解説いただきます。

申込はこちら

QRコードを読み込んで
Googleフォームよりお申し込みください。

GUEST SPEAKER

講演1
3.6ha自然光型植物工場における、GAPを取り入れた持続可能な経営

イノチオみらい株式会社
代表取締役社長
おおかど ひろあき
大門 弘明

講演2
閉鎖系施設を用いた資源循環型植物生産

大阪公立大学　研究推進機構
植物工場研究センター長
きたや よしあき
北宅 善昭

本講座では、SDGsの目標に関する取り組みを行なっております。

3 すべての人に健康と福祉を　6 安全な水とトイレを世界中に　7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに　9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを　12 つくる責任 つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を　CN カーボンニュートラル実現に関する講義

主催：名城大学農学部 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501　お問合せ：agr001@ccmailg.meijo-u.ac.jp（農学部 生物資源学科公開講座事務局）